

開通区間概要

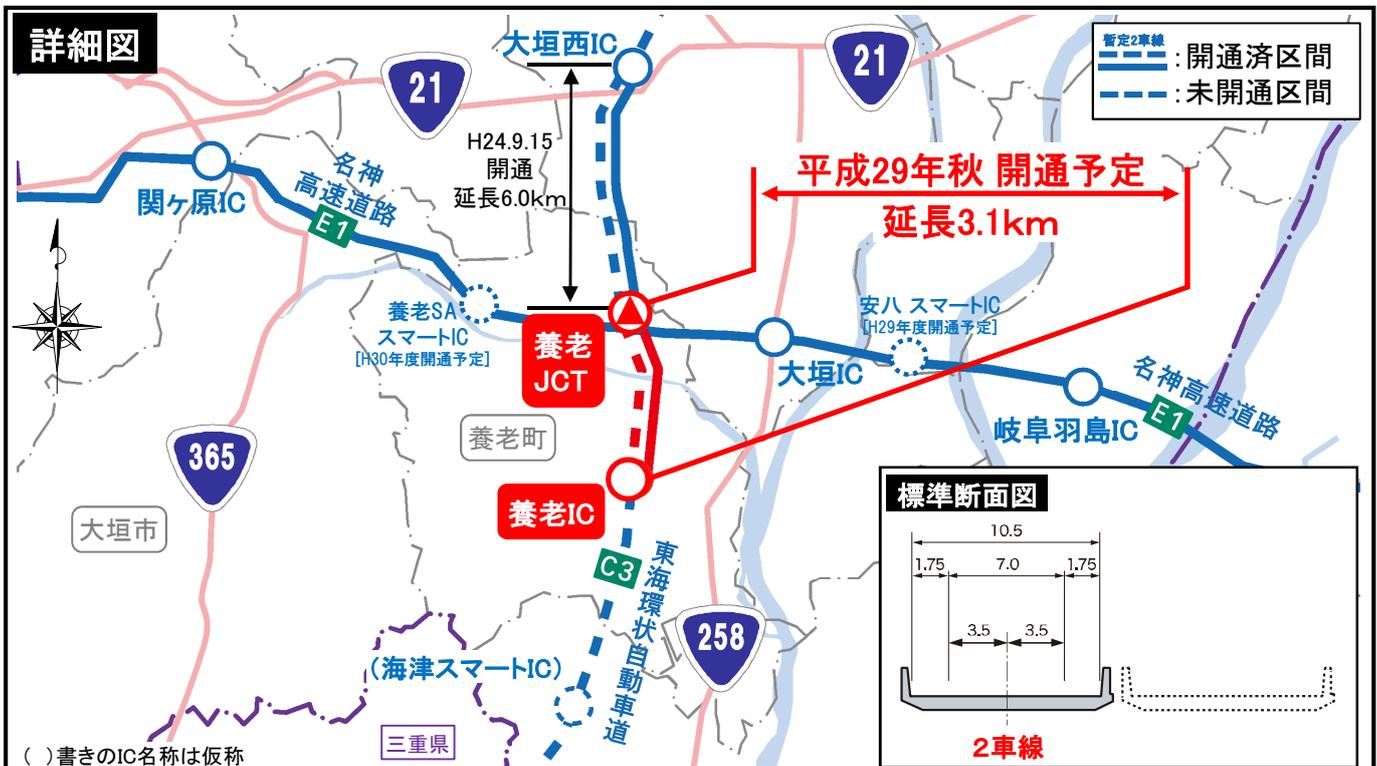
●東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重3県の各都市を環状に連結し、東名高速道路・名神高速道路・新東名高速道路・新名神高速道路等と一体となって、広域的なネットワークを形成する延長約160kmの高規格幹線道路です。

現在までに約83kmが開通しています。

●今回開通区間の概要

路線名	一般国道475号 <small>とうかいかんじょう</small> 東海環状自動車道
開通区間	<small>ようろう</small> 養老JCT(岐阜県養老郡養老町飯積) <small>ようろう</small> ~ <small>ぎふ</small> 養老IC(岐阜県養老郡養老町口ヶ島) <small>ようろう</small>
延長 / 車線数	3.1km / 暫定2車線

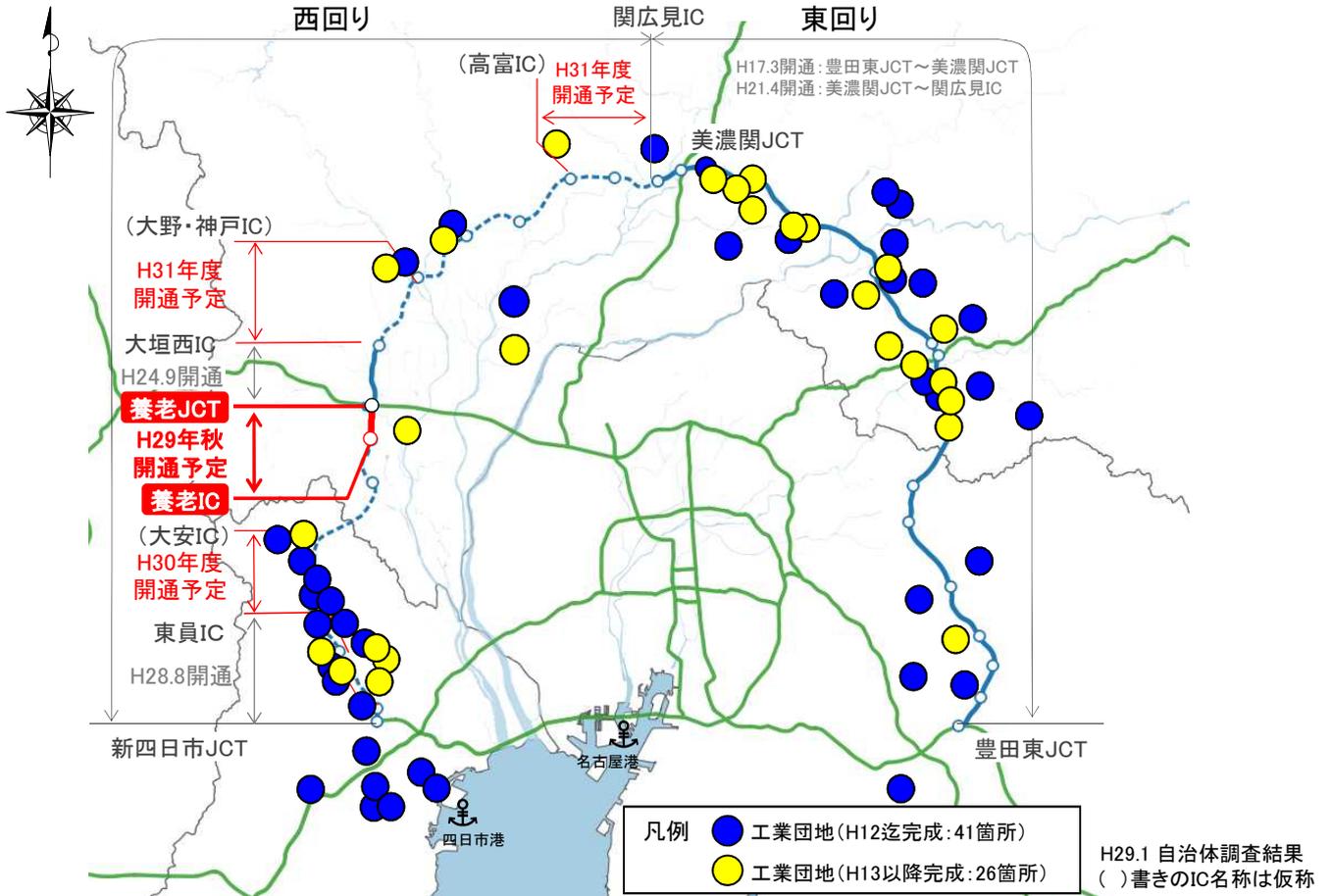
■今回開通区間の位置図・状況



ストック効果① 沿線地域の産業振興を支援

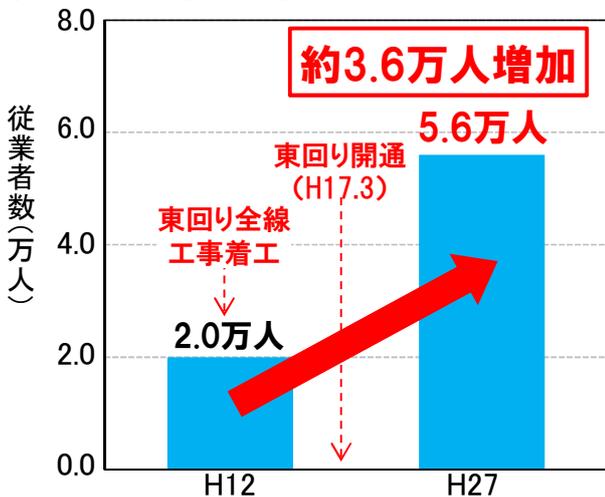
- 東海環状自動車道の開通が民間投資を喚起し、沿線市町の工業団地において**従業者数が約3.6万人増加**しました。
- さらに、**沿線市町の法人税収は約230億円増加**し、全国平均を大きく上回る伸びを見せています。

沿線市町の工業団地立地状況

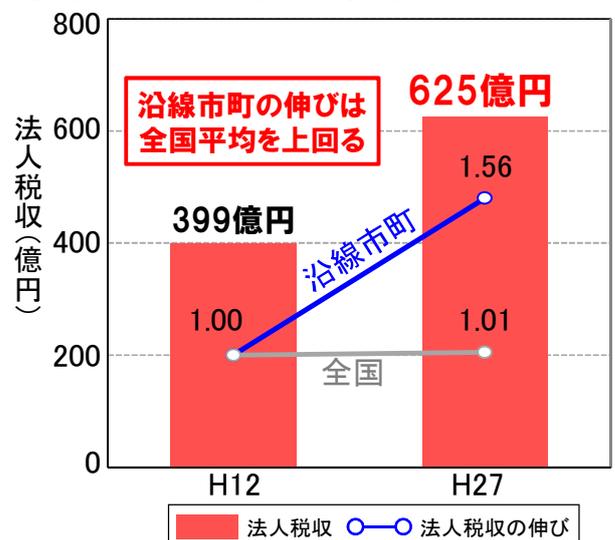


沿線市町における従業者数・法人税収の推移

■沿線工業団地に立地した企業の従業者数



■沿線市町の法人税収の推移



※ 平成29年1月時点(自治体調査結果)
 ※ 従業者数は、東回り・西回りの合算値

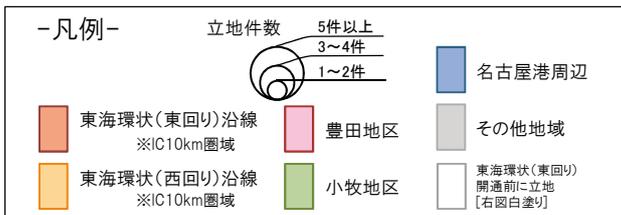
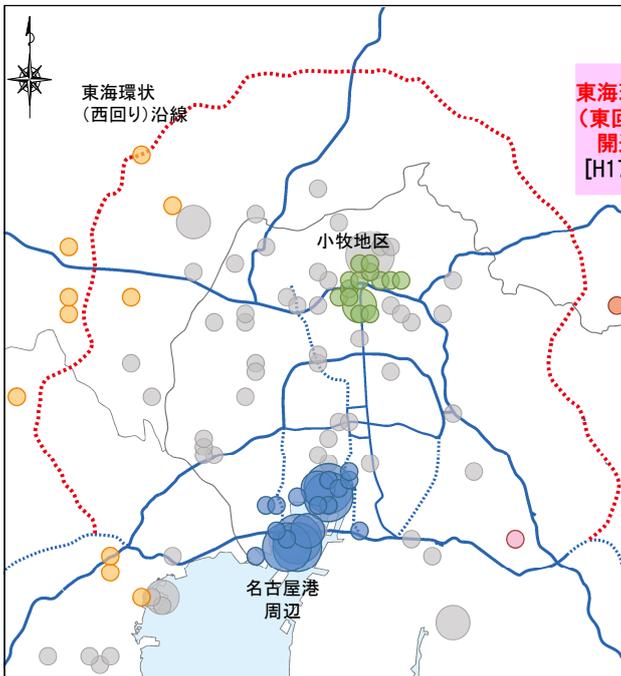
※ 総務省「地方財政状況調査」より作成
 ※ 沿線市町は、東回り・西回りをあわせた15市8町

ストック効果② 物流の効率的な配送を支援

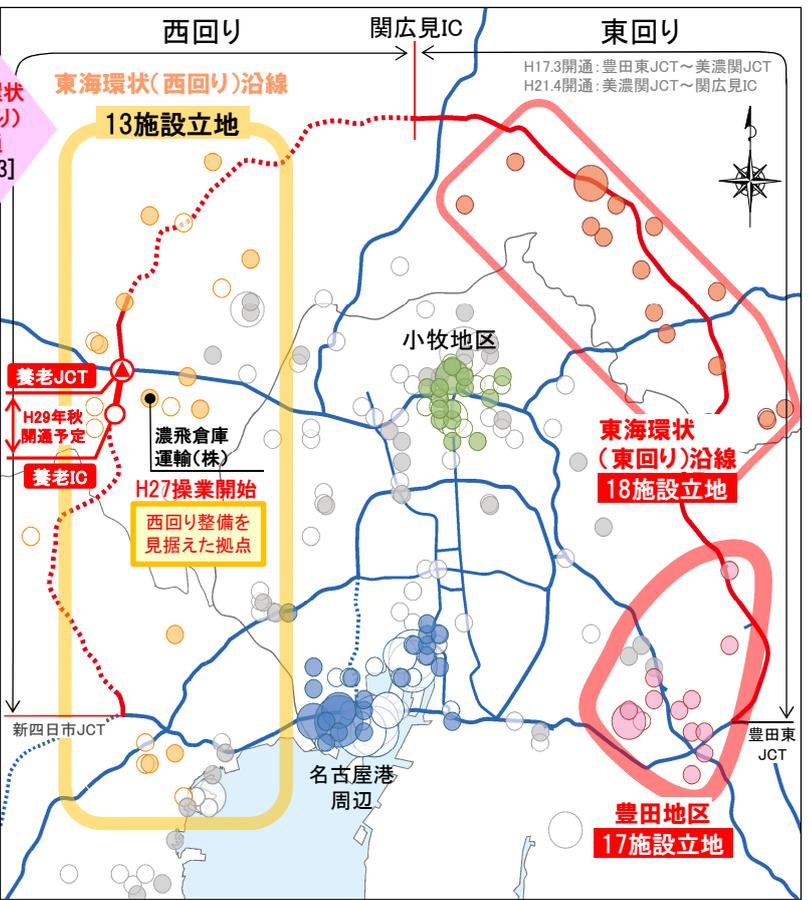
- 東海環状自動車道東回り開通後、沿線には新たに48の物流施設が立地。豊田地区及び東回り沿線に、35施設が立地したほか、西回り沿線には、13施設が立地し、西回りの整備を見据えた拠点整備も進んでいます。
- 東海環状自動車道の整備により、小牧地区や名古屋港を中心としていた物流施設が広域化し、都心を経由することなく各地への配送が可能となり、物流の効率化を支援します。

沿線市町の物流施設立地状況の変化

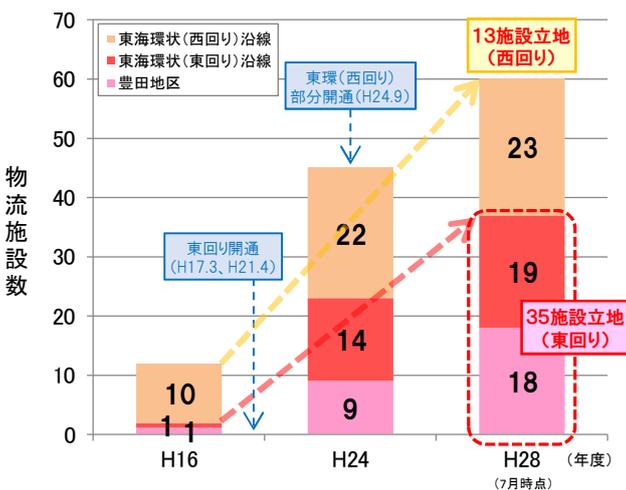
物流施設の立地状況[H17.3まで]



新たに立地した物流施設 [H17.4~H28.7まで]



沿線の物流施設の推移



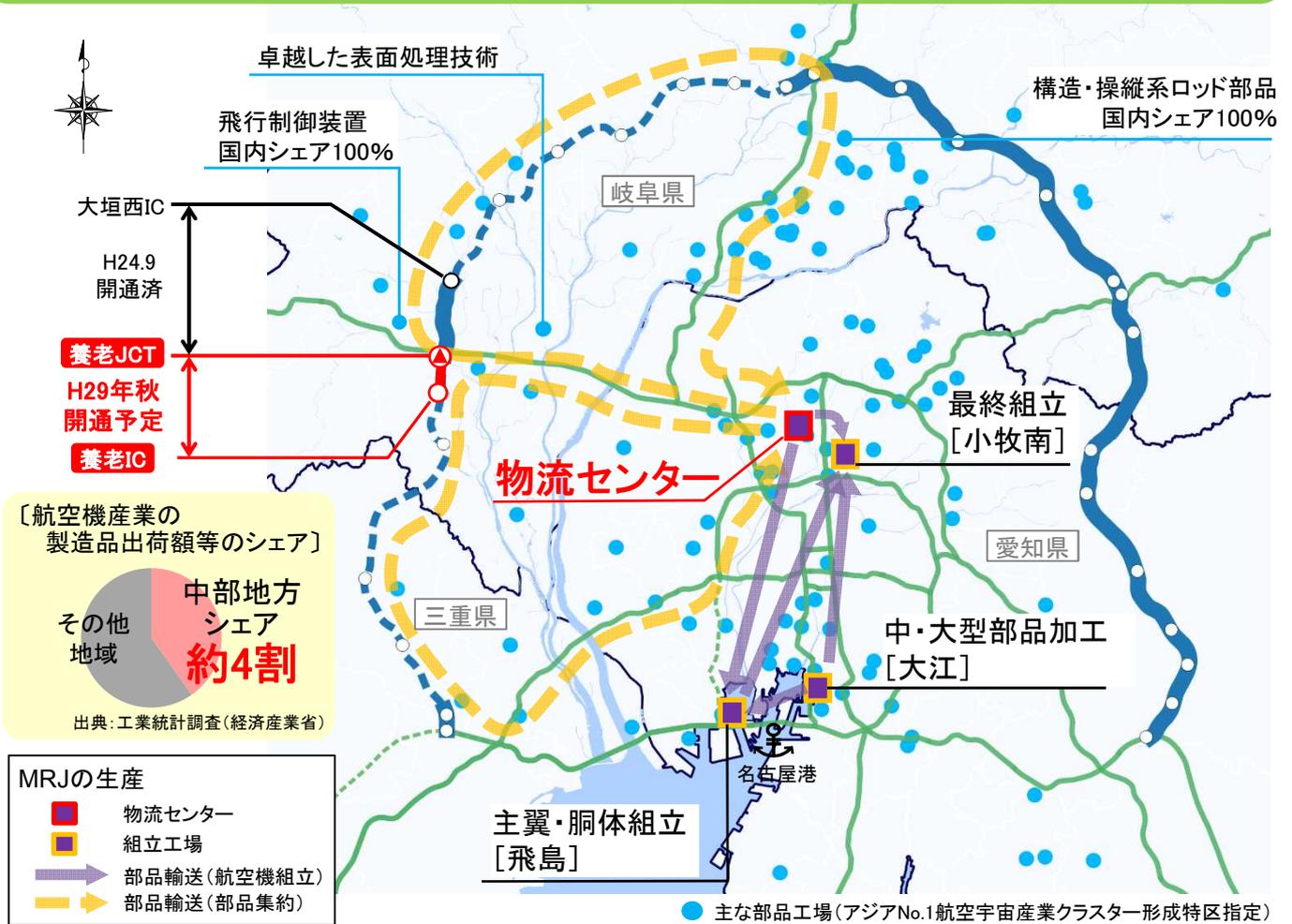
西回り沿線に新設された物流拠点



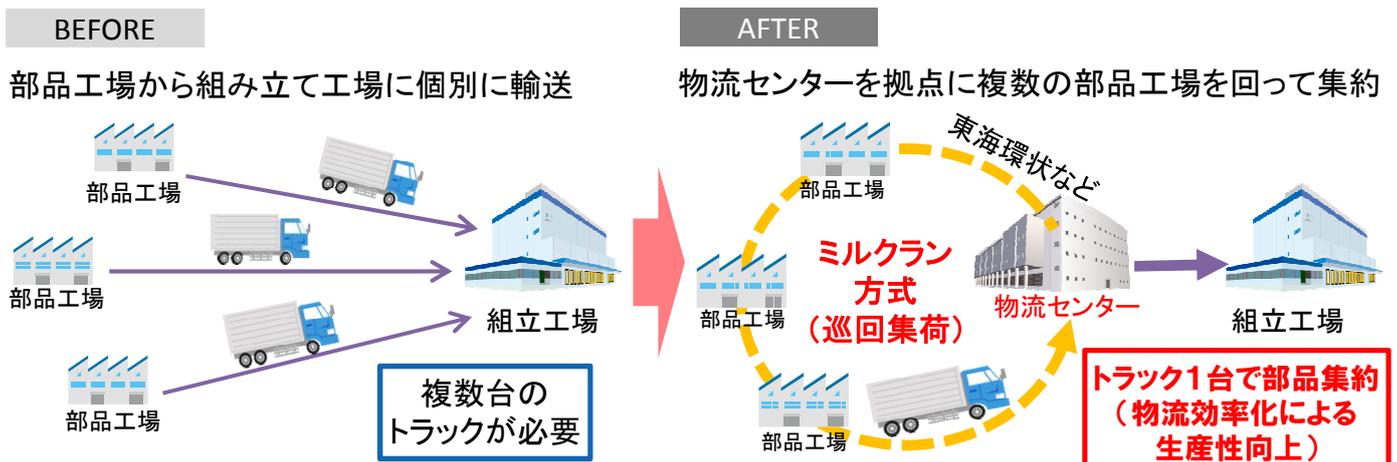
ストック効果③ 航空機産業の物流効率化を支援

- 中部地域は**航空機製品シェア4割**を占めており、我が国最大の**航空機産業の集積地**です。
- 東海環状自動車道の整備により、航空機部品の**物流効率化**(巡回集荷)による**生産性の向上**が期待されます。

航空機産業が集積する中部地方における主な物流



東海環状自動車道(西回り)等利用による物流効率化のイメージ



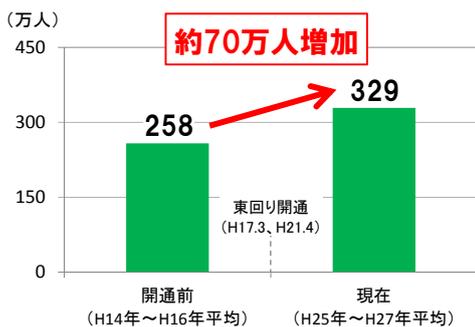
ストック効果④ 沿線市町の観光を支援

- 東海環状自動車道東回り沿線の都市公園では、開通前に比べ、観光入込客数が**約70万人増加**しました。
- 東海環状自動車道(養老JCT～養老IC間)の開通により、養老公園など、西回り沿線における**都市公園の更なる活性化が期待**されます。

沿線の都市公園の観光入込客数



東回り沿線の都市公園の観光入込客数の変化



養老公園(養老町) 養老改元1300年祭 多様なイベントを開催中



今後も広がるネットワーク

- 新名神高速道路及び東海環状自動車道では、今回の開通に引き続き、今後も開通を予定しています。
- 更なる高速道路ネットワークの拡充により、中部圏のものづくり産業を支援します。



■東海環状自動車道(西回り)工事進捗状況

(大安IC)～東員IC H30年度開通見通し	(大野・神戸IC)～大垣西IC H31年度開通見通し	関広見IC～(高富IC) H31年度開通見通し